ＯＢ会だより

第48号

〈発　行〉
京都外国語大学
能楽部OB会広報部

第四十八回 外大能 十二月四日（日）於 河村能舞台

昨年度、京都外国語大学能楽部は記念すべき創部五十周年を迎えました。まだその余韻が残る中、今年も外大能に向けて現役部員達は練習に励んでいます。創部五十一年目に突入した今、私達ＯＢ会も初心に戻りこれからの能楽部を共に支えていきたいと思います。

十二月四日（日）、第四十八回外大能が河村能舞台に於いて開催されます。今年の能楽は「船弁慶」、舞囃子は「敦盛」です。一回生と二回生の仕舞に加えて今年も外大能の舞台を盛り上げるべく、ＯＢ会からも仕舞や地謡に多くのメンバーが参加します。忙しい合間をぬって各々に練習に励まれた成果を舞台で発揮されることでしょう。お時間のある方は、是非舞台の応援にお越しください。そして、今年のＯＢ連吟曲は紅葉狩です。当日お越しくださる方々、足袋をご持参の上、振るってご参加くださいますよう、宜しくお願い致します。



船弁慶前シテ



船弁慶後シテ

活動報告

ＯＢ懇親会と「第三回ゆかた会」

八月六日（土）、ＯＢ懇親会が『ホテル杉長』で開催されました。久々に参加されたＯＢ・ＯＧをはじめ新しくＯＢ会へ入られた方々が集い親睦を深めました。親睦会に入る前に、第四十八回外大能に向けての議事を話し合い、並びに会計から昨年度の会計報告を受けました。議事報告に続いての宴会はホテル杉長さんの名物料理「鯛しゃぶ鍋」を頂きました。夏に頂くお鍋もなかなか美味しいと好評でした。

来年は、二年に一度の総会の年となります。皆さまのご参加をお待ち申し上げております。

懇親会の前に、花鏡の会主催「ゆかた会」が開催されました。花鏡の会は、四年前に有志の会として立ち上げられ、「ゆかた会」の開催は今年で三回目を迎えました。現役部員や遠方から観に来てくださったＯＢ・ＯＧの方々に見守られ、楽しく謡い、舞った会でした。暑い中、当日ご出席頂いた皆さま有難うございました。今年の「ゆかた会」の報告は、京都外国語大学校友会のホームページでも紹介されています。

（ゆかた会の紹介は7頁です）

祝 橋本礒道先生が古稀を迎えられました。

京都外国語大学能楽部講師　橋本礒道先生が今年、古稀を迎えられました。古稀は、唐の詩人杜甫の詩・曲江（きょっこう）の中にある「人生　七十古来稀なり」という詩句に由来すると言われています。七十歳を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。これからも、ご健勝で益々のご活躍をお祈り申し上げます。平成二十年卒の岸本くんが、有志による古稀祝賀旅行を企画してくださいました。急遽企画された旅行にもかかわらず懐かしい方々が参加されて、とても想い出に残る記念の旅になりました。

（古稀祝賀旅行の紹介は6頁です）

ＯＢ会の諸先輩方へ

部長　弥益光佑



初めまして、能楽部の部長を務めさせて頂いております、英米語学科三回生の弥益光佑と申します。私が能楽部に入部して早二年半経ちましたが、こうして素晴らしい学校生活を送ることが出来ますのも、お世話になっております橋本礒道先生、橋本忠樹先生をはじめ、多くのＯＢ・ＯＧの先輩方、現役の仲間達のお陰でございます。

さてこの度部長を務めさせて頂くにあたりまして、二つの目標を立てさせて頂きました。一つは、この能楽部をより活気のある部にする事でございます。部員数を増やす事も当然でございますが、たとえ部員数が少なくとも一人一人が一生懸命、そして楽しく活動出来るような部を目指していきたいと思っております。もう一つの目標は、今年の外大能を無事に成功させる事でございます。今年は上回生が少なく色々と不安がございますが、現役一同一丸となって乗り越えて行きたいと存じます。

私は、この部に入り多くの方々と出会い、そして多くの事を学んで参りました。これも偏に皆様のお陰だと常々感じております。最後になりましたが、これからもご指導の程、何卒宜しくお願い致します。

【現役執行部の紹介】

技術部	森皓平
部長（渉外）	弥益光佑
副部長	吉野怜美
会計	安田涼
渉内	平岡愛梨
外大能会計	弥益光佑
連盟担当	吉野怜美

平成二十三年十二月四日（日）午前十一時始メ　於 河村能舞台
第四十八回 外大能 番組紹介（簡略）

能

船弁慶　シテ　森　皓平

舞囃子

敦盛　弥益　光佑

二回生仕舞

賀茂　安田　涼

和布利　吉野　怜美

屋島　平岡　愛梨

一回生仕舞

大江山　村田　瑞穂

杜若　キリ　村井　理恵

経正　クセ　橋口　莉奈

羽衣　キリ　木下　結

吉野天人　小林　恵利香



ＯＢ・ＯＧ参加仕舞

錦木　キリ　西村　文香（ＯＧ）

三輪　クセ　益田　ちさと（ＯＧ）

融　福本　光咲（ＯＧ）

難波　木村　与宣（ＯＢ）

小塩　キリ　鴨川　愛子（ＯＧ）

鞍馬天狗　岸本　充雄（ＯＢ）

天鼓　井上　真一（ＯＢ）

笠之段　高尾　智憲（ＯＢ）

山姥　キリ　塚田　智恵（ＯＧ）

弓八幡　藤原　敏起（ＯＢ）

玉之段　土井　智代（ＯＧ）

野守　松田　高雅（ＯＢ）

砧　島谷　直美（ＯＧ）

地謡参加

兵道　亮太（ＯＢ）

松田　陽一（ＯＢ）

久世　真実（ＯＧ）

星　裕子（ＯＧ）

ＯＢ・ＯＧ連吟

紅葉狩　ＯＢ・ＯＧ ★

★ 多数のご参加をお待ちしています。足袋をご持参ください。

新OB会員紹介

★年度代議員



会員 No.147
新井美貴

京都外国語大学能楽部に入ってはや四年、本当に月日がたつのは早いものです。ふと、「なぜこの部活に入部したのだろう」と思い起こしてみます。しかし、不思議と私は入部したきっかけというものがない事に気付きました。先輩方、同級生の皆と色々談笑しているうちに、気が付いたらいつのまにか能楽部の一員になっていました。これもひとえに「縁」というものでしょうか。

入部したての一回生だった頃、能楽についてほとんど知識もなく、ただ先輩の後ろをついていました。春には翡翠の会、OB交歓会、夏が来てオタイコヒルズでの合宿、そして一年をしめくくる外大能…様々な行事がありました。その中でも、やはり合宿と外大能は部生活で一番深く思い出に残っています。練習は厳しく足は痛いけど、皆と一緒にご飯を食べ、部屋ではしゃぎ、花火をし、そして最後にスイカ割りと、本当に楽しかったです。

外大能では、実行委員として同回生の小倉さんと仕事をさせて頂きました。先生、先輩方にご迷惑をおかけしてしまった事もありましたが、作り上げた達成感は忘れ難い思い出です。同じ実行委員だった小倉さんには本当に感謝しています。

楽しい事も辛い事もありましたが、四年間で学んだ事は大切な知識であり思い出です。

最後になりましたが、四年間、先生、先輩方にお世話になった事を心から御礼申し上げます。これからもOGとして頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。





会員 No.148
小倉由佳梨

能楽部を卒業して、あっと言う間に半年が過ぎました。先輩の仕舞の飛び返りを見て、憧れで入った能楽部でしたが、無事四年間続けられ、卒業でき、嬉しく思います。可愛い後輩や気のいい同回生にも恵まれて、充実した四年間でした。

合宿で、一回生と相部屋になった時は、新鮮な目で能楽部を見られた事がとても印象的でした。

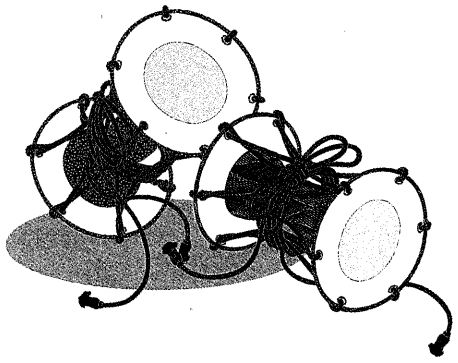
外大能では、三回生での舞囃子「桜川」、特に四回生のお能「吉野天人」の舞台では、能地が初の女性だけの地謡ということで、とても緊張しましたが、先輩達のバックアップのおかげで、集中して一所懸命に舞う事が出来ました。

先輩方にはお食事に誘って頂いたり、公私ともに大変お世話になりました。

橋本先生には、お忙しい中、お時間を頂いてご指導して頂き、大変感謝致して居ります。

能楽部では礼儀や人間関係について、様々な事を学ばせて頂きました。先の四月から、京都を離れ、今は地元で働いて居りますが、能楽部で学んだ事を活かしながら、そして、これからもOGとして、後輩である現役生に何か支援できることがあればしていきたいと考えています。

最後になりましたが、橋本礒道先生、橋本忠樹先生、諸先輩方、ついてきてくれた後輩達、支えてくれた同回生の皆様に感謝を申し上げます。





会員 No.149
高山裕子

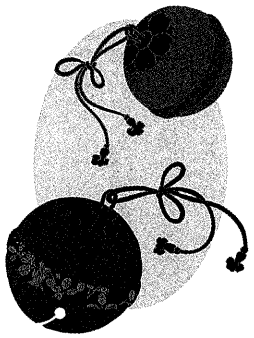
今年度より新ＯＧになった高山裕子です。

大学を卒業してもう半年になりますがあまりＯＧになったという実感が薄く、まだまだ現役気分が抜けていません。私にとって能楽部に所属していた四年間は長いようで短い、とても充実した時間でした。

能楽部は私に色々な出会いをもたらしてくれました。同回生のみんなや諸先生方、ＯＢ・ＯＧの先輩方や他校の方々等、年代や出身地も違う方々と交流を深めることができました。人だけでなく「平家物語」と出会えたことも印象深いです。部内で「平家といえば高山！」と言われるのは少し照れくさくもありましたが、胸を張って好き！といえるものが増えたこともまた私の宝物となっています。ちなみに現在は来年の大河ドラマを楽しみにしています。（来年の大河は平清盛です！）

四年間を通して楽しいことやつらいこと色々ありました。三回生の時に入院したこともあり、お能を出すことをギリギリまで迷っていましたが、家族や島谷先輩他大勢の方に背中を押され、『吉野天人』の前シテを勤めさせていただいたことは一番の思い出であり、自分がたくさんの人に支えられているんだなと改めて感じることができた出来事でもありました。

私たちの代は上回生の先輩が少なかったこともあってＯＢ会の先輩方にはたくさん助けていただきました。今度は私たちがその恩を〝能楽部〟に返す番だと思っています。これからもよろしくお願い致します。





会員 No.150
★福本光咲

今年度、ＯＢ会に入会させて頂きました、福本光咲と申します。

五十周年記念外大能で舞台に立たせて頂いてから、はや一年が過ぎようとしています。いまだに自分が現役部員であるような気持ちになる時があり、無事大学を卒業できた安心感とともに、卒業「してしまった」寂しさを感じています。

私にとって、大学生活の中心が能楽部でした。授業前に部室、授業後も部室。練習してお喋りして皆でご飯を食べに行って…そんな毎日が楽しくて仕方なかったです。熱しやすく冷めやすい私が、四年間夢中になり、これからもずっと続けたいと思えることを、初めて見つけられました。「能楽部だからこそできること」をたくさん経験できた四年間は、間違いなく、一生大切にしたい宝物です。能の面白さ、深さを教えてくださった、橋本礒道先生、橋本忠樹先生、そして先輩方には、心から感謝しています。本当にありがとうございます。

そして現在、ＯＢ会で、花鏡の会で、お稽古を続けさせて頂いていることをとても嬉しく思っています。現役の頃とは一味違った楽しさもあり、毎月のお稽古を心待ちにしている日々です。

私が現役部員の頃、先輩方がしてくださったように、新ＯＧとして、現役部員の皆さんを支えられるよう、これからも頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



会員 No.151
益田ちさと

今年度より新ＯＧとしてＯＢ会に入会させて頂きました、益田ちさとと申します。歴史ある能楽部ＯＢ会の一員になれたこ

と、とても嬉しく思います。

先日、礒道先生の古稀祝賀旅行に参加させて頂きました。現役時代とはまた違った楽しさがあり、これから続くＯＢ会との関わりが非常に明るいものになると実感致しました。現役時代にお話しできなかった様々な先輩方ともお話をさせて頂き、能楽部の歴史をより感じることができました。これからも能楽部をより深く知ることが出来ればと思います。

また、夏合宿やＯＢ現役交歓会、ＯＢ懇親会にもＯＢとして初めて参加させて頂きました。現役時代とは違った視点から能楽部を感じることができ、ＯＢの先輩方のお気持ちや大変さを改めて実感したように思います。ＯＢの先輩方の現役を思う気持ちや部活への想いなど、現役時代に考えていた以上に深い愛情や真剣な姿勢が垣間見え、改めて感謝の気持ちが湧き上がるばかりです。私も現役を陰ながら応援し、現役の活力になるようなＯＧとなるよう、精進を続けてまいりたいと思います。

最後になりましたが、ここまで御指導を頂いた橋本礒道先生、橋本忠樹先生、そして島谷先輩をはじめＯＢ会の先輩方に心より御礼申し上げます。不束者ではございますが、外大能・花鏡の会を中心に精一杯尽力してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



祝ご結婚

末永くお幸せに！

二〇〇三年度卒業
松田　陽一氏



松田陽一くんが平成二十三年九月十九日に京都市で挙式されました。お二人の幸せそうな写真を交えながら、ご挨拶を紹介します。

先日の九月十九日、私、松田陽一は妻・歩と結婚いたしました。彼女は会社の後輩でありまして、入籍は今年の三月でした。独身の頃になかったものの考え方、価値観など、結婚して感じる事はたくさんあります。お稽古を通して自分の愚かさ、弱さを知りました。お能に出会っていなければ今の自分はありません。

来年からの転職の関係もあり、皆さまとお会いできる機会も少なくなるかもしれませんが、しっかりと先を見据え、夫婦共々精進して参りたいと思いますので今後ともどうぞご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



幸せいっぱいのカップルですね。
本当におめでとうございます。
末永くお幸せに!

祝　橋本礒道先生が古稀を迎えられました！

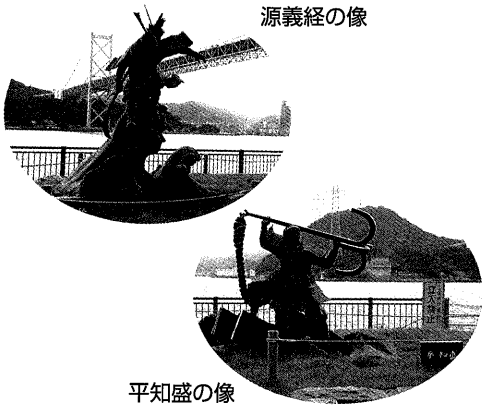
※七十歳を祝う古稀は、唐の詩人杜甫の詩「曲江（きょくこう）」の中にある「人生　七十古来稀なり」という詩句に由来すると言われています。

古稀祝賀旅行のご報告

岸本　充雄



この度、微力ながら橋本礒道先生の古稀祝賀旅行の実行委員長を努めさせて頂きました。企画の段階から島谷会長をはじめ多くのOBの方々から助言を賜り、さらに旅行の二日間では橋本忠樹先生をはじめご参加頂いた皆様、またサプライズ企画の面では、残念ながら当日参加できなかった方々からも様々な形でお力を頂き、無事に旅行を終えることができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。


源義経の像

平知盛の像

今回の旅行は遠くは横浜や舞鶴からご参加頂き、合計で十七名という団体旅行となりました。初日は壇之浦・赤間神宮という平家が沈んだその場所にて平家を想い、二日目はしまなみ海道の大三島にある大山祇神社にて源義経が奉納したと云われる「赤糸威鎧（国宝）」を中心に様々な武具に圧倒された旅でした。初日の夜には春帆楼という日清講和条約が結ばれた歴史ある割烹旅館にて夕食を戴き、サプライズ企画と題しまして礒道先生にオリジナルラベルが貼られた日本酒と礒道先生がお生まれになられた日の新聞、紫のちゃんちゃんこを贈呈致しました。



しまなみ海道の観光案内板


春帆楼にて

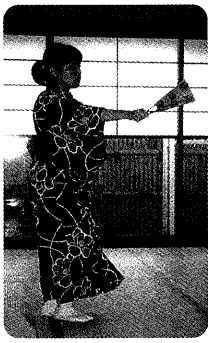

大山祇神社にて

旅行も終わりが見えた頃、皆様から様々な感謝のお言葉を頂き、幹事として旅行に尽力をさせて頂いた事を幸福に感じました。現役の楽しさとはまた違うOB会の楽しさを心から感じることができた旅行だと実感致しました。

礒道先生、本当におめでとうございます。

第三回 花鏡の会「ゆかた会」開催！

去る八月六日(土)、ホテル杉長に於いて、花鏡の会第三回発表会「ゆかた会」が開催されました。以前もご紹介した通り、有志で結成された花鏡の会ですが、来年で結成五周年を迎えます。講師の橋本忠樹先生にご指導頂き、卒業しても尚、奥深い能の世界を楽しんでおります。


敦盛


胡蝶


淡路

京都外国語大学能楽部ＯＢ会会員のために発足された〝気軽に能を楽しむ会〟ですので、ご参加お待ちしています。


邯鄲夢之舞


西王母


兼平


放下僧 クセ




春日龍神


小塩


弓八幡

来春 橋本忠樹先生が道成寺をお勤めになります。

来春、平成二十四年四月十五日京都観世会館に於いて、橋本忠樹先生が道成寺をお勤めになります。早めにチケットをお買い求めください。

橋本忠樹先生のホームページ(8頁参照)でも告知されると思いますので、チェックしましょう！

住所変更について

お引っ越し、ご結婚などで住所、氏名の変更をされた方は、必ず京都外国語大学能楽部ＯＢ会の専用アドレス(8頁参照)、もしくは会員部までご連絡をお願い致します。

〒615-0058
京都市右京区西院笠目町6
京都外国語大学　能楽部ＢＯＸ内
ＯＢ会会員部　宛

執行部からのお知らせ

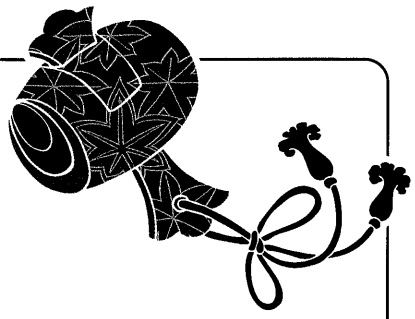
■京都外国語大学能楽部　会費納入のお願い

毎年お願いしております会費納入につきまして、長年お振り込みが無かった方々から、まとめて振り込みが有ったり、また振り込みを再開して頂いた方も居られます。
ご協力に感謝申し上げます。今年の会費を未納の方、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

おくやみ

去る1月23日、講師　橋本礒道先生のお母様がご逝去されました。我々、能楽部OB会にとりましても長年外大能の舞台を影ながら見守ってくださっていた、とても優しい私たち能楽部のお母さんの様な存在だったと思います。「おきばりやっしゃ!」、このお言葉をいつまでも心に刻み大切に致します。
有難うございました。ご冥福をお祈り申し上げます。

ご案内



『OB会執行部宛の専用アドレス』
➡gaidainoh@yahoo.co.jp

京都外国語大学能楽部OB会執行部宛の専用アドレスです。
ご意見やお問い合わせなどございましたらご活用ください。

『京都外国語大学能楽部のホームページ』
➡http://www.kufs.ac.jp/student/nogaku/index.html

能楽部の現役部員が管理しているサイトです。部員の紹介をはじめ、外大能のお知らせなど楽しいホームページです。是非一度ご覧ください。

『観世流能楽師 橋本忠樹先生のホームページ』
➡http://www.hashimoto-tadaki.jp

リニューアルされました!

能楽部講師　橋本忠樹先生のホームページです。能楽の解説をはじめ能楽界に関する様々なお話が分かり易く解説されています。徒然日記、先生の海外出張のご紹介など、忠樹先生の素顔や普段の多方面に亘ってご活躍されている一面を知ることが出来る興味深いホームページです。

会計局から会費納入のお願い

◎一般会員　8千円
◎夫婦会員　1万2千円
前年度分まで未納の方は本年度分と併せてお振り込みくださいます様お願い申し上げます。
[振込先]
☆郵便口座
００２８０－１－５２０７６
☆加入者名
京都外国語大学能楽部ＯＢ会

【前号の誤りとお詫び】

第47号ＯＢ会だよりの中で、福井玲子先輩のお名前が間違っておりました。大変失礼致しました。お詫び申し上げます。

編集後記

ＯＢ会に参加したくても仕事やプライベートの用事と重なり、参加出来ない方々に、少しでも能楽部ＯＢ会の活動内容を発信しよう!という気持ちで毎号取り組んでおります。これからも皆さまとＯＢ会の架け橋＝ＯＢ会だよりになるようご意見、ご希望の企画などあれば、お寄せください。

《ＯＢ会だより第48号》
◎編集責任者　藤原敏起
編集委員／唐木啓子・土井智代
校正補助／鴨川愛子
◎発行責任者　島谷直美